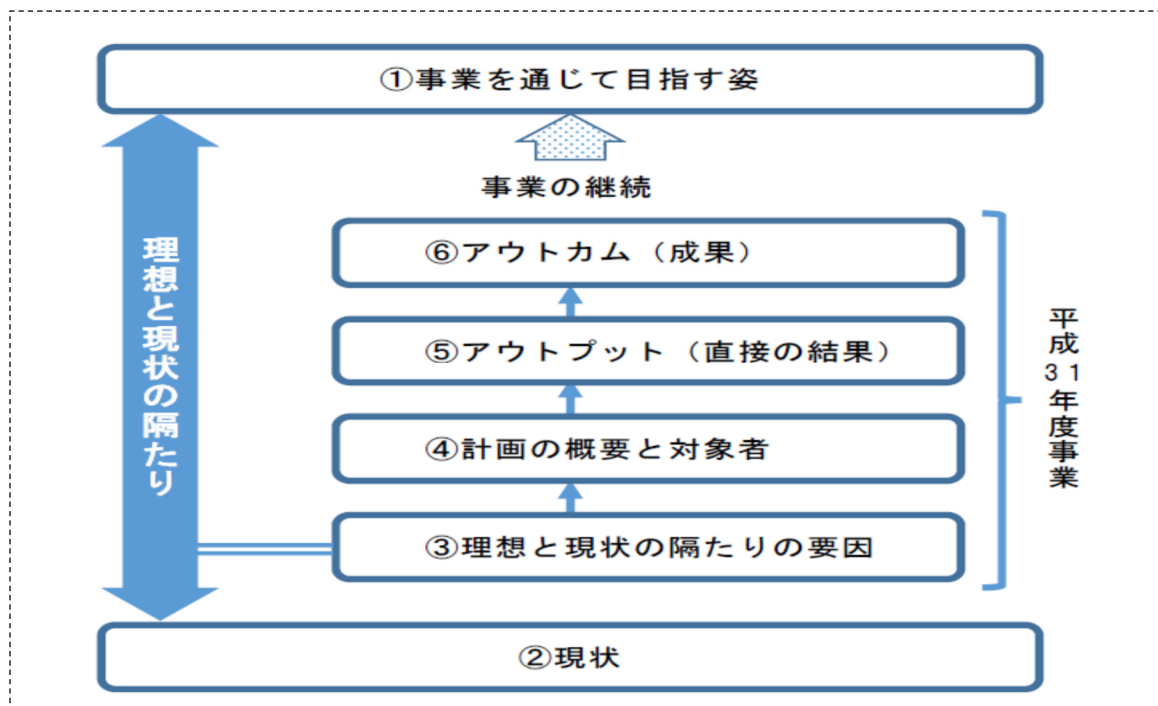


## 事業計画書

|       |        |                              |
|-------|--------|------------------------------|
| 事業名   |        | 若者をつくる高梁川流域における多様なコミュニティ形成事業 |
| グループ名 |        | 備中「聞き書き」+（プラス）実行委員会          |
| 代表団体  | 名称     | 一般社団法人高梁川プレゼンターレ             |
|       | 住所     | 岡山県倉敷市東町 1-21 倉敷町家トラスト内      |
|       | 担当者    | 坂ノ上博史                        |
|       | 電話番号   | 080-4629-6624                |
|       | E-mail | t.presentare@gmail.com       |

## 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



## アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。アウトカムには、アウトプットに直結した短期のものと、目指す姿へつながる長期のものがあります。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、○○○というアウトプットが生じ、次にその成果として、というアウトカムが生じる関係にあります。

**事業実施→アウトプット→アウトカム**

## アウトプットとアウトカム の例

| 事業名     | 活動      | アウトプット          | アウトカム（短期）   | アウトカム（長期）   |
|---------|---------|-----------------|-------------|-------------|
| 学習支援事業  | 学習会の開催  | 月 4 回、各回 20 名参加 | 参加者の学習意欲の向上 | 家庭での学習習慣の定着 |
| 就労支援事業  | 冊子作成・配布 | 1 千冊作成、800 人に配布 | 就労に必要な知識の習得 | 就労の定着、経済的自立 |
| 保護者支援事業 | 居場所の運営  | 週 2 回、各回 15 名参加 | 育児の負担感の緩和   | 子どもの健やかな成長  |
| 移動支援事業  | 高齢者の送迎  | 週 2 回、各回 5 名利用  | 移動手段の選択肢の増加 | 移動困難者の減少    |

## 1 事業を通じて目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。事業の実施により、地域課題が改善に向かった後、「どのような地域・人が、どのような状態になっていることを目指すのか」について、具体的に記入してください。

地域団体の持つノウハウを活かして高梁川流域における次世代の地域活動の担い手を育成することで、若者が自発的に地域団体や多様なバックグラウンドをもつ主体を巻き込んで場づくりを行い、地域課題解決のために活動する仕組みが出来ている状態を目指します。

## 2 現状

1 「事業を通じて目指す姿」と比べて、現状はどのような状況にありますか。「どのような地域・人が、どのような状況にあるのか」について、具体的に記入してください。

2018 年度の活動において、備中間き書き実行委員会が実施した事業においては、19 名の話し手と、19 名の聞き手が 1 対 1 でのコミュニケーションを通じて、「まちの記憶」を伝える、貴重な体験を得ました。アウトプットは、冊子として印刷・配布されていますが、その情報が届く範囲は、家族や友人、学校関係者など限定的なものになっています。事業の直接の受益者（試算）話し手 19 名、聞き手 19 名、冊子を読んだ方 話して・聞き手のそれぞれに対して、2 人と計算。76 名。合計 114 名（成果報告会は開催されているが、高梁川流域全体の取組みに対して 1 回であり、実質、話し手と聞き手の参加にとどまっている）

## 3 目指す姿と現状の隔たりの要因

1 「事業を通じて目指す姿」と2 「現状」との隔たりを生み出している，主な原因はどのようなものと考えますか。

備中「聞き書き」実行委員会の活動は、1対1での聞き書きに注力しており、その成果をどのようにアウトプットし、アウトカムを引き出すか、については、そのノウハウがなく、展開がされていない状況にありました。

#### 4 計画の概要と対象者（平成31年度）

##### （1）事業の形式

次のいずれか該当する事業の形式に☑をしてください（両方でも可）。

- ☒ 実践を通じてグループ内でノウハウを受け継ぐ事業
- ☐ グループ内の団体それぞれが持つノウハウを持ち寄り，地域の新たな催しや地域資源を開発する事業

##### （2）計画の概要

3 「目指す姿と現状の隔たりの要因」を取り除くため，どのような事業を実施しますか。  
「どのような地域・人に対して，どのような活動を行うのか」について，簡潔に記入してください。（ 計画の詳細は下記7に記入してください）。

備中聞き書き実行委員会が実践するこれまでの「聞き書き」を踏まえたうえで、一般社団法人高梁川プレゼンターレがもつ、n対nでのコミュニケーションの場づくり（地域内での成果報告会）を行い、「聞き書き」で高校生らが得た貴重な「まちの記憶」や、若者らしい「気づき」などを、更に地域内の多くの方に、伝える機会を創出します。

#### 5 アウトプット（直接の結果）

##### （1）事業を通じて提供するサービス

事業を通じて，「どのような地域・人に対し，どのようなサービスを提供するのか」について，具体的に記入してください。

モデルケースとして、倉敷市及び笠岡市にて、「聞き書き」の活動成果報告会を実施します。多様な参加者を得るために、地域内の文化・芸術などに関わる皆さまを巻き込んで、会を開催することで、これまでの「聞き書き」の活動では出会うことがなかった新しい地域内でのコミュニケーションが期待できます。

##### （2）アウトプットを測る指標と数値目標

事業のアウトプットを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

| 指標                                   | 現状の数値                                 | 事業実施後の数値目標                                    |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 話し手と聞き手の人数<br>に対する、成果の普及<br>先の人数（割合） | 本を読んだ人 係数 2<br>報告会に参加した人 係数 0<br>合計：2 | 本を読んだ人 係数 2<br>報告会に参加した人 係数 2<br>合計：4（2 倍の普及） |

## (3) アウトプットの測定方法

事業を通じて、アウトプットを測る指標をどのように測りますか。数値目標の達成状況を把握できる、具体的な方法を記入してください。

地域内での成果報告会の参加者人数（話し手と聞き手以外の参加者）を計測します。  
聞き書きから得られた地域課題のポイントの抽出も図ります。

## 6 アウトカム（事業の成果）

## (1) 長期のアウトカム

1 「事業を通じて目指す姿」の一段階手前の状況はどのようなものですか。最終的に実現しようとしている、地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

本を読んだ人 係数 5  
報告会に参加した人 係数 5  
合計：10（5 倍の普及）  
上記に伴って、これまでの活動では生まれてこなかった新たなコミュニケーションあるいは活動が発生している。

## (2) 短期のアウトカム

今年度の事業のアウトプットを通じて、実現したい成果はどのようなものですか。アウトプットから今年度中に導かれる地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

地域内での成果報告会で、これまでの地域内の活動では、出会うことのなかった、新たな出会いが生まれている。

い。

## (3) 短期のアウトカムを測る指標と数値目標

事業のアウトカムを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

| 指標                              | 現状の数値 | 事業実施後の数値目標                                       |
|---------------------------------|-------|--------------------------------------------------|
| 地域内での初めての人との出会い（参加者ごとに計測して合計する） | 0     | のべ60の出会い<br>（参加者10人＊2会場で、参加者それぞれが新しく3人ずつの出会いがある） |

## 7 計画の詳細

## ( 1 ) 事業の具体的な内容

内容, 対象者, 実施期間, 実施場所, ねらい等を具体的に記入してください。

「聞き書き」の地域内成果報告会を開催します。今年度は、モデルケースとして、倉敷市と笠岡市にて開催。

対象者： 1、これまでに聞き書きに参加した話し手 2 名  
 2、これまでに聞き書きに参加した聞き手 2 名  
 3、地域内のまちづくり活動などの参加者 3 名  
 4、地域内で文化・芸術活動などに参加する方 3 名  
 合計 10 名

実施期間：9～11 月の間

実施場所： < 倉敷会場 > 倉敷市中央 2 丁目 13-3 住吉町の家分福  
 < 笠岡会場 > 笠岡市飛島 旧飛島小・中学校

なお、地域内成果報告会の手法（ファシリテーターの心得、進行台本、会場設営、アイスブレイク等）はマニュアル化して、研修実施をし、ノウハウ移転します。

#### 地域内成果報告会のイメージ

会場には、地域内で実施された、複数の聞き書きの「話し手」と「聞き手」に加えて、まちづくり活動などの参加者や、あるいは文化・芸術活動などに参加する方など、聞き書きの内容に関心を寄せる地域内の関係者（関心層）が参加します。

なお、参加者には、これまでは冊子での文字情報だけだったものから、聞き書きした内容を、写真や図案化されたイメージ図などで、視覚的に工夫されたレポートを配布します（事前送付）。

備中「聞き書き」実行委員会のメンバーが、進行役（ファシリテーター）となって、幾つかのグループに分かれて、聞き書きで得た知識や気付きを共有します。その際に、話し手の側からも「聞き書き」に参加した感想や、あるいは話を続きなどの発言をしてもらえるようにします。

関心層とした方々にも、「〇〇と言えば…」といった流れで、発言を促し、会場の誰もが、自由に会話に参加できる雰囲気を作り上げます。

グループのメンバーを替えるなどして、一つの聞き書きのエピソードから、更に多くのコミュニケーションが広がる機会を実現します。

会の終了時間を迎えても、参加者が立ち去りがたく、もっと話をしたい！という空気に会場が包まれば、この会は成功となります。

（聞き書きプラス（イメージ図）を参照願います。）

聞き書きから得た地域内の課題の抽出、資料化 11 月～2 月

報告書の作成 3 月

## ( 2 ) 事業のスケジュール ( 準備 ~ 実施 ~ 報告 )

|       | ( 本事業 )             | ( その他聞き書き関連行事 )                |
|-------|---------------------|--------------------------------|
| 6 月   |                     | 本年度の参加者確定<br>研修開催 ( 6 月 22 日 ) |
| 7 月   | 準備<br>・ 関係機関との協議、確認 | 宿泊研修開催 ( 7 月 27 日、28 日 )       |
| 8 月   | ・ 日程等の確認            | インタビュー実施                       |
| 9 月   | ・ ノウハウのマニュアル化       | 書き起こし、作品作成                     |
| ~     | ・ ノウハウ移転研修の開催       |                                |
| 11 月  | 地域内報告会の開催<br>振り返り   | 11 月 29 日作品提出                  |
| 12 月  | 報告書の作成              | 12 月 21 日フォーラム                 |
| ~ 3 月 |                     |                                |

## 8 ノウハウとその有効性

ノウハウとは、団体が過去に実施した活動の中で習得したり、成功や失敗の経験から得たりした、地域の課題解決に有効な手法や技術などの蓄積を言います。それぞれの団体が有するノウハウの内容と、それを事業にどのように活かせるのかについて、具体的に記入してください。

## 備中聞き書き実行委員会

・ 聞き書きのノウハウ ( 1 対 1 での聞取り、書き起こし、冊子作成 ( それらの指導・育成、及び高校生等の参加者募集のノウハウを含む ) )

## 一般社団法人高梁川プレゼンターレ

・ 多様な主体の参加する場づくりのノウハウ ( ファシリテーション、マインドマップ、会場設営など )  
 ・ プレゼンテーションのノウハウ ( 基礎資料の作成、時間配分など )  
 ・ 文化芸術活動に携わる方との連携 ( 福武教育文化振興財団との連携・協力を含む )

## 9 事業完了後の取り組み

補助金の交付条件として、事業の完了後 1 年以内に、事業の成果を活かした取り組みを実施することとしています。事業の成果が継続して地域に根付くのに有効な取り組みであれば、その規模や内容は問いません。事業完了後に予定している取り組みの内容を具体的に記入し

てください。

( 1 ) 事業の実施主体となる団体名

備中聞き書き実行委員会

( 2 ) 事業完了後の取り組みの概要

次年度以降も、各地域での成果報告会を、小規模かつ多数、開催して、地域内での新たな出会いとコミュニケーションの場を創出する。

これまでの聞き書きの活動を、いっそう、地域内に根差した形で、還元することができる。

## 収支予算書

|       | 所属・役職           | 氏名    |
|-------|-----------------|-------|
| 経理責任者 | 高梁川プレゼンターレ 代表理事 | 坂ノ上博史 |
| 経理担当者 | 高梁川プレゼンターレ 経理担当 | 鶴井一美  |

## 1 収入の部

| 科目   | 内訳 | 金額(円)   | 積算根拠                |
|------|----|---------|---------------------|
| 補助金  |    | 520,000 | 千円未満切り捨て, 上限 750 千円 |
| その他  |    | 0       |                     |
| 収入合計 |    | 520,000 | ( 支出合計と一致 )         |

## 2 支出の部

| 科目      | 内訳                                                                                | 金額(円)                       | 積算根拠                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------------------|
| 人件費     | 900 円 * 8 時間 * 20 日 * 1 人<br>900 円 * 8 時間 * 2 日 * 1 人<br>900 円 * 8 時間 * 3 日 * 2 人 | 144,000<br>15,000<br>44,000 | ノウハウのマニュアル化<br>ノウハウ研修 ( 準備等含む )<br>地域内成果報告会 運営 |
| 謝金      |                                                                                   | 60,000                      | 写真講師 25,000 円<br>図案化講師 35,000 円                |
| 旅費交通費   | 参加者・ゲスト交通費                                                                        | 45,000<br>15,000            | 1,500 円片道 * 往復 * 15 人<br>500 円片道 * 往復 * 15 人   |
| 消耗品費    | 文房具等<br>会場装飾 ( ポスター等 )                                                            | 30,000<br>20,000            | 筆記具、バインダー等<br>ポスター 2000 円 * 10 枚               |
| 印刷製本費   | 500 円 * 50 部<br>1,000 円 * 20 部                                                    | 25,000<br>20,000            | レポート印刷費<br>マニュアル印刷費                            |
| 通信運搬費   | 300 円 * 50 か所<br>300 円 * 50 か所                                                    | 15,000<br>15,000            | レポート郵送費<br>報告書郵送費                              |
| 保険料     | イベント保険                                                                            | 2,000                       | 50 円 * 30 人                                    |
| 使用料・賃借料 | 会場借料                                                                              | 20,000                      | 2 か所                                           |
| 委託料     | デザイン業務委託                                                                          | 50,000                      | マニュアル冊子デザイン費                                   |
| 対象経費計   |                                                                                   | 520,000                     |                                                |
| 食糧費     |                                                                                   | 0                           |                                                |
| その他     |                                                                                   | 0                           |                                                |
| 対象外経費計  |                                                                                   | 0                           |                                                |

|      |  |         |             |
|------|--|---------|-------------|
| 支出合計 |  | 520,000 | ( 収入合計と一致 ) |
|------|--|---------|-------------|

金額は切り上げて千円単位で記入してください。